

## 「2012 エネルギアグループCSR報告書」の主な記載内容

### ○特集「安定供給に向けた取り組み（4～9頁）」

全国的に電力需給が逼迫するなか、中央給電指令所や火力発電所など、それぞれの職場で電力の安定供給に取り組む社員の姿を紹介しています。

### ○CSRの取り組み

#### 1. 東北地方太平洋沖地震を踏まえた島根原子力発電所の安全対策

〔「安全の確保（16～19頁）」〕

電源や冷却機能の確保などの緊急安全対策や、発電所の安全性をさらに高めるための信頼性向上対策、原子炉が重大な損傷を受けた場合の対策などについて掲載しています。

#### 2. 環境管理目標等の一部見直し〔「環境問題への積極的な取り組み（32～65頁）」〕

「中国電力環境行動計画」に掲げる現在の環境管理目標の最終年度である2012年度を迎えるに当たり、経営環境の変化に対応するため、2012年度目標の一部見直しを行うとともに、今後を着実に取り組みを推進するため、2013年度目標を新たに設定しました。

なお、中期重点目標として掲げる「CO<sub>2</sub>排出原単位の低減」（2008～2012年度における使用端CO<sub>2</sub>排出原単位を、1990年度実績から平均で20%程度低減）については、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づきCO<sub>2</sub>排出クレジットを反映した結果、2011年度のCO<sub>2</sub>排出原単位は0.502kg-CO<sub>2</sub>/kWh<sup>※</sup>（CO<sub>2</sub>排出量3,014万t）で、1990年度実績比18.2%減となりました。

#### 3. その他

将来にわたり電気を安定的に供給するための当社の取り組みやグループ一体となったサービスの提供〔「お客さま本位の徹底（27～31頁）」〕、地域における社会貢献活動〔「地域社会発展への貢献（66～69頁）」〕等について掲載しています。

以上

<sup>※</sup> CO<sub>2</sub>排出クレジット反映前は0.657kg-CO<sub>2</sub>/kWh（CO<sub>2</sub>排出量3,945万t）。なお、今回公表した2011年度排出原単位は暫定値であり、クレジット反映前および反映後の正式な数値については、「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」の電気事業者別のCO<sub>2</sub>排出係数として、国より別途公表されます。